



### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分  
成分

混合物

化学名又は一般名	CAS
EDTA・4ナトリウム	64-02-8
メタ珪酸ナトリウム	6834-92-0
アルコールエトキシレート	68439-46-3
不活性混合物	

### 4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分の悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに多量の水で洗浄すること。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状

多量の水又は牛乳を飲む。(酒類は絶対に飲ませない。)  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
皮膚:刺激は穏やかであるが、長時間の接触で皮膚炎を誘発する可能性あり。  
眼:かゆみの原因となる。長時間の付着で損傷を起こす可能性あり。

最も重要な兆候及び症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

情報なし

### 5. 火災時の措置

消火剤

通常の水

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

情報なし

消火を行う者の保護

情報なし

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および

情報なし

緊急措置

情報なし

環境に対する注意事項

少量の場合拭き取るか洗い流す。大量の場合は吸収材を散布するかポンプで吸い上げタンクに戻す。

封じ込め及び浄化方法・機材  
二次災害の防止策

危険でなければ漏れを止める。  
床が滑りやすくなるのでよく洗い流す。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の保護具を着用する。

局所排気・全体換気

情報なし

安全取扱い注意事項

飲み込みを避けること。

眼に入れないこと。

皮膚と接触しないこと。

保管 接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

技術的対策

情報なし

混触危険物質

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管条件

使用時以外は容器のふたを締めて保管する。

容器包装材料

プラスチック

### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

データなし

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

OSHA

PEL未確認

ACGIH

TVL未確認

設備対策

情報なし

保護具 呼吸器の保護具

特に必要はない。蒸発物濃度が上昇した場合、浄化機能付きのエアマスクを着用する。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

情報なし

衛生対策

情報なし

### 9. 物理的及び化学的性質

物理的 形状

液体

状態

色

赤色

臭い

微臭

pH

12±0.5

沸点、初留点及び沸騰範囲

99°C

引火点

なし

自然発火温度

発火性なし

燃焼性(固体、ガス)	データなし
爆発範囲	爆発性なし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
比重(密度)	1.036g/cm <sup>3</sup> (20°C)
溶解度	水に100%溶解
オクタノール・水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし
<b>10. 安定性及び反応性</b>	
安定性	安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などを発生する。
<b>11. 有害性情報</b>	
急性毒 経口性	データなし
経皮吸入	LD50(ラット) 2000mg/kg 吸入(蒸気): データなし 吸入(粉じん): データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性: データなし 皮膚感受性: データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	発がん性なし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
<b>12. 環境影響情報</b>	
水生環境急性有害性	データなし
水生環境慢性有害性	データなし
<b>13. 廃棄上の注意</b>	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
<b>14. 輸送上の注意</b>	
国際規 海上規制情報制	情報なし
航空規制情報	情報なし
UN No.	情報なし
国内規 陸上規制情報制	情報なし
海上規制情報	情報なし
航空規制情報	情報なし
特別安全対策	特別な措置の必要はない
<b>15. 適用法令</b>	
消防法	情報なし
<b>16. その他の情報</b>	
参考文献	各データ毎に記載